

石川県では、聴覚障がい者が病院を受診する際、スマートフォン等を利用し、テレビ電話方式で手話通訳をするサービスを運用しています。従来は、手話通訳者が病院に同行していましたが、コロナウイルス等の感染症予防のため、遠隔で手話通訳する運用に切り替えました。

利用者の方からは概ね好評で、多少の手間はかかるものの、不都合は無いとのご意見を頂戴しております。

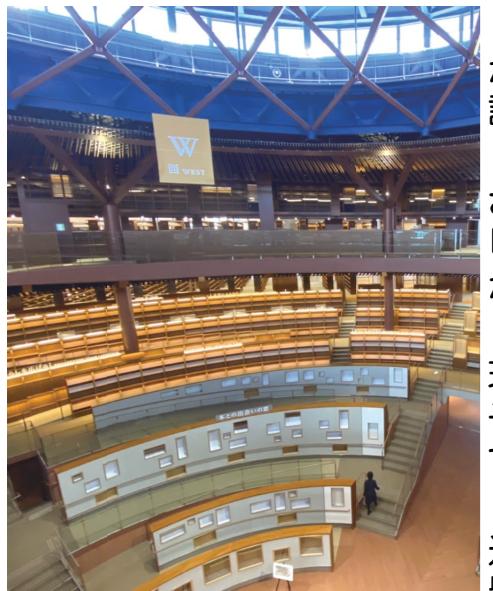
障がい者さんや手話通訳者が感染リスクを懸念し、受診を控えることのないよう、どなたも健康に過ごせるよう取り組みを続けています。

対象の方: 県内在住の聴覚障がい者さんで、身体障がい者手帳の認定を受けている方

利用方法: 事前の申し込みが必要です。お住いの市町の障害福祉課にお申込みください

利用可能時間: 月～金曜日の 9 時～17 時 30 分

TOPIX 新石川県立図書館が令和四年7月16日(土)に開館！



現在の県立図書館は、昭和41年(1966年)に建築され、老朽化が進み耐震基準を満たしていない事や、閲覧スペースが狭いなど課題となっていました。

平成28年に「新石川県立図書館基本構想検討委員会」が設置され、県民の多様な文化活動・文化交流の場として、県民に開かれた「文化立県・石川」の新たな“知の殿堂”をコンセプトに、移転・建替えが具体的に検討されてきました。

閲覧できる本は約30万冊と現在の3倍、閲覧席も約500席と現在の7倍、駐車場も約400台分を確保し、本を読む以外にも、子供向けエリアやキッチン付きのイベントスペースなど、ワクワクする空間となっています。

新県立図書館は、小立野通りからのアクセスの他、山側環状道路からもアクセスできるよう道路整備も行い、広く県民の皆様に使いやすい図書館となるよう、整備しています。

Youtube始めました



太郎田をもっと知りたい。直接皆様へお話ししたい。という想いから、Youtubeチャンネルを立ち上げました。

動画では、太郎田のプロフィール紹介、活動報告、県の動き、メッセージ、お知らせ、イベント情報等様々な情報発信します。

チャンネル登録よろしくお願いします！



お困りごとやご相談は、
ご遠慮なく電話や
FAX・メールで
ご連絡ください。



ご注意
コンピュータウイルス”Emotet”的感染が広がっています。太郎田事務所のパソコンは、県警サイバー班に調べていただき、感染していないことを確認しました。太郎田真理や太郎田事務所を語る”なりすましメール”が送られていますので、不審なメールは開かないでください。

石川県議会議員

太郎田まり

〒920-0912
金沢市大手町9-30 トミタビル201
TEL: 076-224-5501
FAX: 076-224-5502
Mail: ishikawa@tarouda-mari.com



Mari's Voice



2022年
春号

発行: 太郎田まり事務所 金沢市大手町9-30 トミタビル201

【新たな時代の幕開け】

7期28年続いた谷本知事が退任されました。この間、のと里山空港の開港、新幹線開業、クルーズ港の整備など、産業面、観光面等が評価され、日本海側のトップリーダーと呼ばれるようになりました。

長期政権になると、組織の柔軟さが失われる等の弊害もあると言われています。一方で、行政運営には継続性も重要で、突然何かが変わるという事はありません。安定した行政運営がされていた事は大変評価するところです。

今春からは、馳新知事のもと、新たな時代が幕を開けます。石川県のさらなる魅力発信に期待するところです。

直近の取り組みとしては、コロナからの再生と成長、新幹線県内全線開業効果を全県に波及すること、将来に向けては、カーボンニュートラルへの対応や、デジタル化のさらなる推進に取り組みます。

このような、大きな取り組みについては、多くの議員も関係しており、総力を挙げて取り組みます。一方で、地域の課題についても、しっかりと目を向けなければなりません。令和3年12月定例会において、公共交通機関における障がい者さんの利便性向上について要望しました。①点字ブロックの改善、②オンライン手話サービスの拡充、③音の出る信号機の拡充等についてです。この内、①点字ブロックについて、金沢駅周辺では、景観を意識したため、点字ブロックの色が見に

くいという問題がありました。今般の要望により、景観と見やすさに配慮した色に塗り替える事が決定しました。

また、2月定例会において、委員各位のご推挙により、商工観光公安委員会委員長を仰せつかりました。この委員会は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた厳しい経営環境にある事業者さんへの支援や、コロナに便乗した特殊詐欺等の注意喚起を促す等、経済と暮らしの安心安全に取り組んでいます。様々な課題が山積していますが、慎重に審議し皆様の負託にしっかりと応え職責を全うするよう努めて参ります。

よろしくお願い致します。

石川県議会議員

太郎田まり



議会だより

令和4年2月定例会では、令和4年度当初予算が議論され、主に「新型コロナ対策」、「将来の発展」、「暮らし」、「デジタル化」について議論し、予算成立しました。



①新型コロナウイルス感染症対策

▶ 感染拡大の防止

オミクロン株の感染急拡大を受け、臨時の宿泊療養施設を1,000床にする等の体制を強化しました。医療機関に対する支援や、宿泊療養施設の継続確保(4月以降は560床→630床)、検査体制の確保に取り組みます。

▶ コロナからの再生・成長支援プログラムの創設

「再生パッケージ」として、国の事業復活支援金に県独自の上乗せ給付や、県民向け旅行応援事業の再開等に取り組みます。

「成長パッケージ」として、あらゆる業種を対象とした企業のデジタル化支援を、資金面・技術面・人材面から支援します。

②将来の発展につなげる

▶ 交流基盤

西部緑地公園の再整備に向け、基本構想(公園全体、野球場、産業展示館)を策定します。新幹線やクルーズ港も活用し、“石川ファン”的拡大に取り組みます。

▶ 県の個性を活かす

千里浜の砂浜再生、金沢城の復元整備、新県立図書館の開館、里山里海の魅力発信、イベント開催支援等に取り組みます。

③暮らし

▶ 防災・減災

豪雨に対する河川改修(16河川)、堆積土砂の除去(40河川)、のと里山海道4車線化等による緊急輸送道路の整備等に取り組みます。

▶ 安全・安心

通学路の防護柵の設置、歩道整備、信号機整備等、交通安全対策に取り組みます。

④デジタル化

▶ 産業・行政のデジタル化

スマート農林業人材の育成、介護現場での業務負担軽減や接触機会の削減、行政手続きのオンライン化の推進に取り組みます。

いしかわ百万石文化祭2023



いしかわ百万石
文化祭2023
ロゴマーク

▶ 大会ロゴマークが発表されました。金沢美術工芸大学大学院生の作品が採用され、百万石の「100」をモチーフに、漆器や金箔をイメージした色で、石川らしさを表現したものとなっています。今後、県民へのロゴマークの浸透、PRの推進、県外の方には、県内各地へ足を運んでもらうようPRの推進に取り組みます。

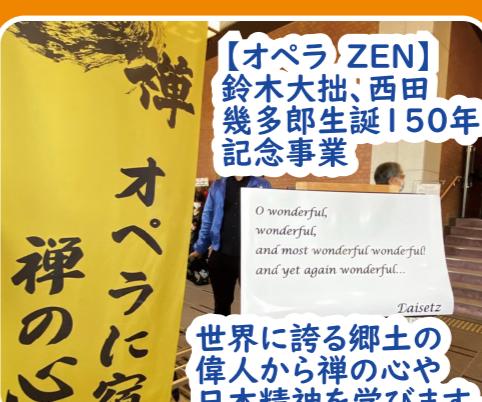
■ 大会概要

会期：令和5年(2023年)10月14日～11月26日

名称：「いしかわ百万石文化祭2023」(キャッチフレーズ「文化絢爛」)

基本方針：北陸新幹線の県内全線開業を見据え、石川県の文化の魅力を余すところなく発信。全市町を会場とし、県民は文化の担い手、鑑賞者、ボランティアとして主体的に参加。観光の推進、文化資源の活用、地場産業との連携、国際交流の推進など、石川の文化の価値を再認識し、未来に向けて誇りと愛着を持って文化の継承と発展に取り組みます。

～ 私には「声」がある「言葉」がある「歌」がある～



【消防出初め式】
迫力ある加賀とび
令和2年は住宅火災が80件でした。消火器等の点検をお願い致します。

